



ITU理事会作業部会等の結果概要

総務省 国際戦略局 国際戦略課 かんた よういち 菅田 洋一
 総務省 国際戦略局 国際戦略課 つじ ゆういち 辻 悠一
 総務省 国際戦略局 国際戦略課 おおつき めみこ 大槻 芽美子

1. 概要

2021年9月20日から同年10月1日にかけて、ITU理事会作業部会 (Council Working Group: CWG) がオンラインで開催された。今般の作業部会は6つのクラスタで構成され、財政及び人的資源 (CWG-FHR)、国際的なインターネット関連公共政策課題 (CWG-Internet、オープンコンサルテーションを含む)、世界情報社会サミットと持続可能な開発目標 (CWG-WSIS&SDGs) 及び2024-27年の戦略・財政計画 (CWG-SFP) に関する会合がそれぞれ開催された。これらの作業部会に加え、第6回世界電気通信政策フォーラムに向けた非公式専門家会合 (IEG-WTPF-21) 及び国際電気通信規則 (ITR) のレビューに関する専門家会合 (EG-ITRs) が同時期に開催された。会合には合計約70件の寄書が提出され、ITU理事国及びセクターメンバーのほか、市民団体、学术界などから約100名が参加した。

2. 主要議題の主な結果概要

(1) 財政及び人的資源のための作業部会 (CWG-FHR)

前回のCWG-FHRにおけるロシア提案に基づき、事務局より現物拠出の一般的な定義を含むガイドライン文書が提案された。現物拠出とは、現金以外の寄付であり、ITUの活動を支援するため現地または本部レベルで受け取ったサービス、物品、資産のうち、信頼性をもって測定及び監査可能なものと定義されている。カナダが本ガイドラインにおける人材の拠出と人材派遣の関係が曖昧であること、現物拠出のガイドラインと財政規則は目的が異なることを指摘し、米国も外部監査人からのコメントや、国連システムに関するより多くの情報が必要でありガイドラインの修正は時期尚早であると主張したことから、次回 (2022年1月) のCWG-FHR会合において継続して議論することとなった。

また外部監査について、2019年理事会で不正行為の事例を特定するための監査実施が決定され、外部監査人として選定されたPWCが2021年6月に最初の報告を行ったが、COVID-19の影響で外部監査人がジュネーブで物理的な監

査を行うことができなかったことから、最終報告書が2021年12月までに提出される予定となっている。

ITU予算については、前会合で議論された結果として事務局が作成した、2021-2027年会期のunfunded mandatory activities (UMACs: 資金割当がないが必須の活動) をリスト化したものが提出された。カナダがCWG-SFPとの連携の重要性を主張、スイス、ロシアも一時的な資金調達の見直しを議論する必要があることを指摘し、次回のCWG-FHRで継続して議論することとなった。

(2) WSIS (世界情報社会サミット) 実施に関する作業部会 (CWG-WSIS&SDGs)

会合では、WSISプロセス及びSDGsに関連するITUでの活動が報告されるとともに、今後の活動計画及び2022年3-6月に開催されるWSISフォーラム2022の準備状況が事務局から報告された。またロシアが、CWG-WSIS&SDGsの作業について、WSISプロセスに関する報告書作成、SDGsの実施を支援するためのデジタル協力におけるITUの役割分析、2025年のWSIS成果の実施の全体的レビュー (WSIS+20) に関するオープンコンサルテーション及び次回会合への情報提供などを事務局に勧告するとともに、全権委員会決議140の修正に関する意見提出をITUメンバーと地域電気通信機関 (RTO) に呼び掛けることなどを提案していた。本提案についてはサウジアラビアが賛同したものの、米国、英国、カナダ等から、WSIS+20や他の国連機関における取組みに関する情報を得てから準備を行うべきであること、他の国連期間と重複すべきではないこと、CWG-WSIS&SDGsでは情報共有以上の活動をすべきではないこと等が指摘され、次回のCWG-FHRで継続して議論することとなった。

(3) 国際的なインターネット関連公共政策課題に関する作業部会 (CWG-Internet)

CWG-Internetでは、マルチステークホルダーから幅広く意見を聴取するオープンコンサルテーションを毎年実施し



ている。今回は「COVID-19の影響と将来のパンデミックの可能性を緩和するためのインターネット及び国際的なインターネット関連公共政策の役割」をテーマとしてコンサルテーションが開催され、政府、企業、消費者団体、アカデミア等を含む様々なステークホルダーから計17件の意見が提出された。

オープンコンサルテーションの次回の議題案として、ロシアより「インターネットのパブリックコアの完全性、レジリエンス、安定性を確保するための国家の役割」、英国より「インターネットの環境への影響とメリット」「デジタルスキルとキャパシティビルディング」、米国より「ユニバーサル・コネクティビティ」が提案されていた。

ロシア提案については、サウジアラビアが賛同したが、欧米諸国、日本、オーストラリアが、「パブリックコア」の定義が不明確であること、インターネットガバナンスやプライバシーに関する国際レベルでの画一的な議論はITUのマandat外であること等を主張し、不支持を表明した。英国と米国の案に対してはどちらも支持が表明されたが、環境は重要な問題でありCWG-Internetのマandatとの親和性も高いことが指摘された結果、次回のオープンコンサルテーションのテーマを「インターネットの環境への影響とメリット」とすることが決定した。

(4) 2024-27年の戦略・財政計画に関する作業部会 (CWG-SFP)

2022年全権委員会議 (PP-22) において採択予定のITU戦略・財政計画 (2024-27年) については、2022年3月の理事会で承認する必要があることから、今回からドラフト作成の作業部会が開始された。

戦略計画に盛り込むべき参考事項として、COVID-19がITUの活動・機能分野に与えた影響についての分析、ITUの他のプロジェクトや報告書から得られた知見や提言及びデジタル技術と協力に関する国連の動向等が事務局から共有されたほか、中国より、戦略計画の一部として「グローバル・デジタル・ガバナンスに関連するハイレベル国際会議のプラットフォームの活用」及び「公衆衛生緊急時 (PHEIC: Public Health Emergency of International Concern) のためのICTの活用」を加える提案が出されていた。

今次作業部会においては、戦略計画をドラフトするための基となるフレームワーク案 (※戦略計画の要素等を想定) を事務局が作成するための方向性 (ガイドライン) について取りまとめた。内容についてはハイレベルなものであり、中国提案のような個別具体的な論点については議論が

及ばなかった。11月にバーチャル調整会議を開催、上記フレームワーク案について議論する予定となっている。

(5) 第6回世界電気通信政策フォーラムに向けた非公式専門家会合 (IEG-WTPF-21)

2021年12月に開催予定のWTPF-21では、オピニオン文書とその土台となるITU事務総局長レポートが採択される予定となっている。今会合では3日間にわたり取りまとめ議論がなされたが、セキュリティに関するオピニオン案を独立させるか否か、AIの用語の使い方など合意に至らない部分も多く、10月に予定されているインフォーマル会合及び11月の第7回専門家会合で継続審議されることとなった。

(6) 国際電気通信規則 (ITR) に関する専門家会合 (EG-ITRs)

EG-ITRsは2012年改正のITR (我が国は未署名) について条文ごとにレビューを行い、最終報告書を2022年の理事会及び2022年全権委員会議に提出することを目的とした専門家グループであり、今会合 (第5回) では理事会に提出する最終報告書案について議論が行われた。

ロシア及び中国が、今会期で明らかになった相違点を解決し、統一されたITRにすべての加盟国が署名するために今後も議論を続けるべきとする提案を出しているのに対し、欧米諸国及びオーストラリアが、意見の相違があった事実のみをレポートに記載すべきという意見を提出していた。また、米州及び日本のセクターメンバーも、これ以上のEG-ITRsの開催やITRに関する議論はITUのリソースの有効活用の観点から不要との寄書を提出していた。日本及び西欧諸国の多くがこれらの意見を支持した結果、ITRの柔軟性や適用可能性についてはコンセンサスが得られなかったことや、今後の進め方について様々な意見が提出されたという事実のみを報告書に記載することでおおむね合意したが、具体的な記述は再度寄書を募集の上、次回会議で継続議論することとなった。

3. 今後の予定

- ・2021年10月25日 IEG-WTPF-21インフォーマル会合 (バーチャル)
- ・2021年11月15日~17日 IEG-WTPF-21会合 (バーチャル)
- ・2021年12月16日~18日 WTPF-21 (ジュネーブ)
- ・2022年1月11日~20日 理事会作業部会 (未定)
- ・2022年3月1日~9日 WTSA-20 (ジュネーブ)
- ・2022年3月21日~31日 2022年理事会 (ジュネーブ)